

福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科
カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシー

【教職開発専攻】

21 世紀の知識基盤社会に生きる力を培うために、子どもたち自身が探求し闊達に学び合い、成長することのできる学校教育の実現が求められている。そしてその実現は学校を担う教員の専門的力量と協働の努力に懸かっている。本専攻は、21 世紀の学校改革を支え、その中心となるスクールリーダー・中核教員の力量形成を実現することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

1. 本専攻が求める教職専門性の 4 つの資質能力を身につけ、基準となる単位数を修得し、「長期実践研究報告」を作成してラウンドテーブルにおいて公表し評価を受けることが、教職修士（専門職）の学位授与の必要要件である。
2. 本専攻の目的に沿って、修了までに以下の資質能力を身につけることを求める。

[授業研究・教職専門性開発コース、ミドルリーダー養成コース]

- ① 子どもと教師の学習と成長を支えるファシリテーター・コーディネーターとしての実践力
- ② 学び合う教師の協働組織とその改革のマネジメント力
- ③ 教育実践の質を不断に高め発展させていく省察・研究能力
- ④ 公教育を担う専門職としての使命感と責任感

[学校改革マネジメントコース]

- ① グローバル社会を生き抜く力を培う学校組織を創る学校マネジメント力
- ② リスク社会における危機に対応する学校組織を運営する危機管理能力
- ③ 学び続ける教師の学習コミュニティを培う専門職学習コミュニティコーディネート力
- ④ つねに学校を革新し続けるために、専門職としての実践研究を重ねる実践研究組織力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

1. 「理論と実践の融合」を実現するために、学校を拠点とする「協働実践研究プロジェクト」を中心に教育課程を編成し実施する。
2. 教職専門性開発を生涯にわたって支えるために、世代継承生成サイクルの視点から、教職専門性の 4 つの資質能力を培う教育課程を編成し実施する。
3. 学び合うコミュニティに公教育改革の支援システムを融合させた教育課程を編成し実施する。